



小名浜  
海難事故防止運動で  
出漁前に安全点検

昨年一年間にいわき市内の港に水揚げされた魚の量は県内金澤港水揚げの八六%に当たる九千七百九十七万三百四十九キロ、漁獲高は百三億六千九百六十六万四千三千三百三十四円だった。いわき県水産事務所が主導した県海面漁業漁獲高調査結果でわかった。最も水揚げの多かったのは遊遊魚のサンマで四千五百十六百三十キロ、次いでイウシの三千二百四十八万一千三百四十一キロ、サバの千九百九十六千七百五十七キロの順だった。漁獲高のトップは沖合を中心とするカツオ類で取るカツオ類の二十二億三千九百五十九万五千三百三十六円、次いでマグロ類となっている。

# 50年の水揚げ量

県水産事務所調べ

## 県内の86%を占める

同水産事務所は五十年中にいわき市内の漁港に水揚げされた魚類と漁獲高を調べてみたが、このは

と題して

漁獲高を調べてみたが、このは

と題して

# ヤマ場を迎えた春闘

一千八百人以上が遅刻欠席

## 市内の高校生に影響

国・労働が二十日午前零時から、七十時間の金曜ストに入りました。通勤、通学者の足が大幅に奪われた。いわき市内の県立十五高校と平島の学校では午前九時現在、二千五百人がまだ、私立盛城一、二高でも合わせて三百四十三人が遅刻または欠席。一千五百九十九人のうち、

八百四十四人の高校生が影響を受けた。いわき教育事務所の調べ(午前九時現在)だと、遅刻または欠席した生徒は勿采工の四百五十五人をトップに、内郷三百六十八人、磐女三百六十六人など。また、平島

う学校でも七人が影響を受けた。

しかし、午前十一時の調べでは、遅刻または欠席した生徒は千人強に減少した。このうち、湯本高は

同日から一日間、同窓会館に泊ま

り込む生徒も出た。

一ヶタでは話にならない!

国労水戸地本福島支部は十九日午後六時から、同支部前に組合員約三百五十人を集め、スト突入宣

行委員が「条件(運賃上げ)付

きは労組に徹底抗戦を挑んだ」とし

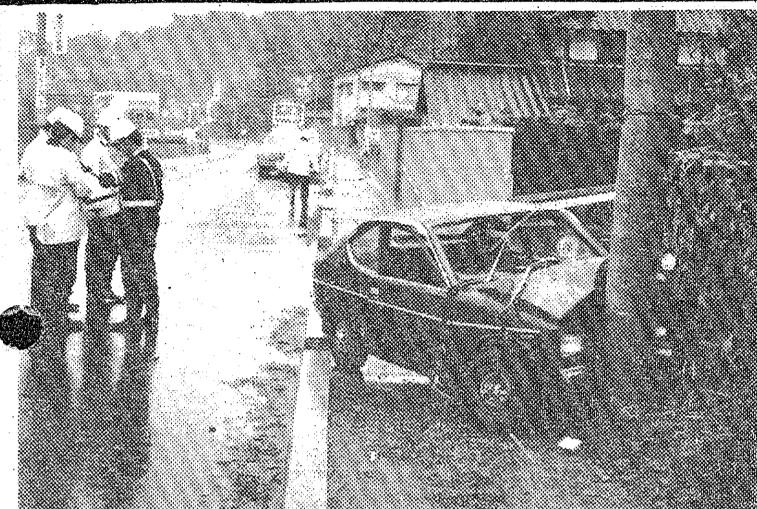
て考へられない。政府・資本家が

ははじめ、北島労本部中央執

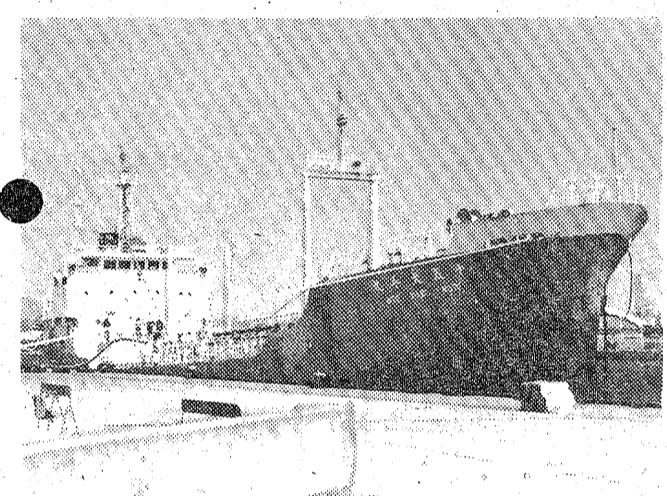
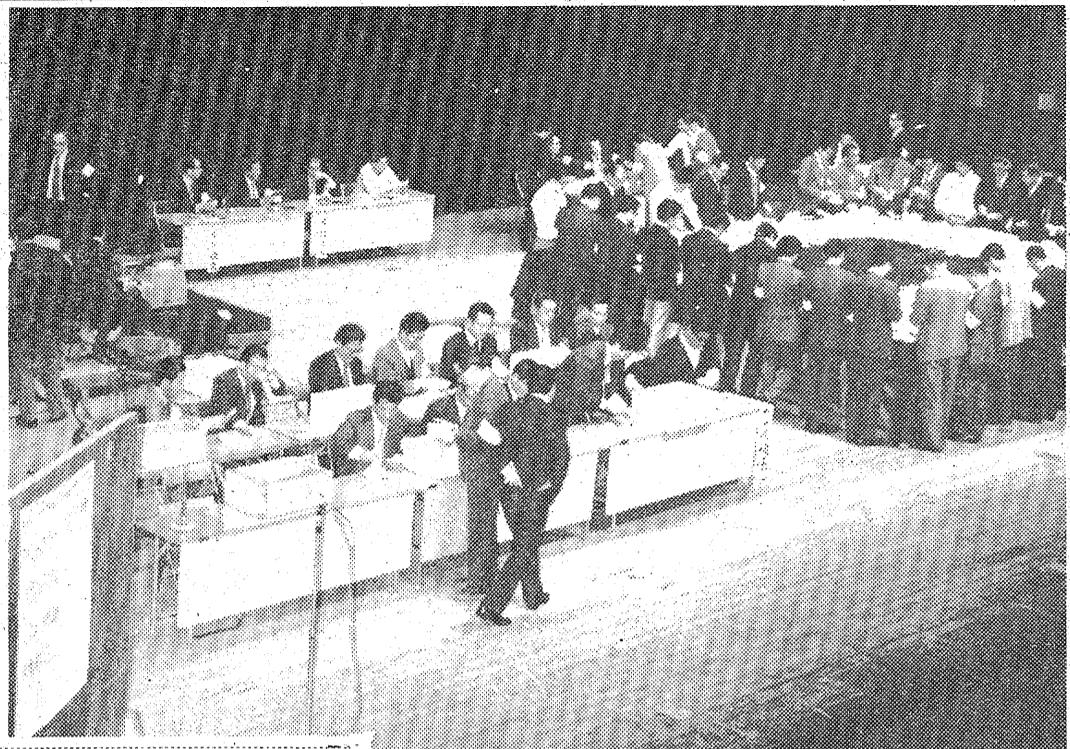








▲雨の14日、平下荒川の県道で道路左側の歩道を築いた下校中の児童たちに車が突っ込み、このため平五小3年の永井洋君がはねられ3週間のケガを負った。これは平下高久の少年が、路面のすべりやすいのにスピードを出し、ハンドル操作を誤ったため。



▲アデリナ号座礁に続いて、重油流出で小名浜港から茨城県大津まで沿岸を油地獄と化したタンカー第15大手丸と韓国貨物船の衝突事故も丸1年となった。長びいている漁民の補償問題とはうらはらに、現役復帰した第15大手丸はもう10回も小名浜港に重油を陸揚げ中。



## 週間 永ガ ファイル

▲第9回福島県知事選挙は桜祭りさなかの18日に行われたが、現職の木村守江氏が前回得票を97,430票上回る史上最高の756,282票を獲得、次点の佐藤徳雄氏を547,000票引き離して圧勝。初の四連を記録した。だが木村氏が楽勝とのムードが市民に多かったいわき市は64.9%の投票率と県下最低だった。



▲15日朝から、新装の小名浜港1号ふ頭魚市場が活動を開始した。トップを切ったのは茨城県那珂湊港所属の一本釣漁船第3宮丸で、冷凍ビンナガ30tを景気よく新装なった同市場へ初水揚げ。一匹平均13kgで、ほとんどかん詰め用として引き取られた。

【定休日 第一・三水曜日】

**江戸前 太郎寿し**

専用駐車場有り・出前・速達  
お座敷有り・二家族連れ歓迎  
平字二町目 電74-5762

電話 00-5005

料亭 田 每の月

小 営 田 每の月

電話 00-5005

いわき市平字田田

(00-5005) (00-5005) (00-5005) (00-5005)

正午から午後1時まで  
※第2・第4月曜日一定休日

## プロ並みの撮影可能!!

最高機能 エレクトロニクスオート露光

### 1眼レフカメラ 10台限 特売

●レンズ F:1.7 ●シャッター 8秒~1秒 ●測光 主要被写体測光 TTL  
無段階オートマチック (マニアル可能) ●付属 専用ソフトケース フィルター 3.6 EXカラーガイドナンバー 28ストロボまたは20オートストロボ

セット価格 83,000円 大特価 58,000円  
月販 62,000円

写真のコンサルタント カメラのフジ  
いわき市平字南町60 電00-4744

一日一日 確かに近づいてくるしあわせ  
大ホールは180名様 中ホールは100名様 日本間は 80名様

◆挙式から記念写真 ご披露宴まで  
ただ今春のご予約承り中

総合結婚式場  
**内郷会館**

いわき市内郷駅前 00-26-3161代

季節の味とまごころを盛りこんだ  
今週の味自慢  
**かき蓋めし**

金平  
平野丸電話 00-5005

正午から午後1時まで  
※第2・第4月曜日一定休日

ご婚礼・ご宴会承ります  
100名様までの御席がござります

駐車場完備  
いわき市平字旧城跡一九 電00-401代

**平安荘**

会津清酒  
**大和川**

いわき市平字材木町  
**大喜多や**  
TEL. 00-3722

みのり商事  
手形割引  
資金繰り相談  
いわき市平字堂ノ前四の二 電00-5005-00-3366

## 処世術を考える

新入社員の目立つシーズンだ。ところでこのルーキーたち。上役に服装や髪の形などについての注意を受けているハズだ。

新入社員の服装  
どうあるべきか

「今まで不思議だと思います。髪はうねに清潔に、耳の間り、髪型は短く、それながらならないように、といった注意がされるんだから。だけど、それが当然のように受けとめられてる社会では、やはりそのようにしなければいかんという」といふ。「いまやールスマンをしているが、服装は髪型も平凡な長さにならなくていいだ。

「いつ考へるべき」とは、スタイルなどは問題外というふうだ。

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（7）

（8）

（9）

（10）

（11）

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

（17）

（18）

（19）

（20）

（21）

（22）

（23）

（24）

（25）

（26）

（27）

（28）

（29）

（30）

（31）

（32）

（33）

（34）

（35）

（36）

（37）

（38）

（39）

（40）

（41）

（42）

（43）

（44）

（45）

（46）

（47）

（48）

（49）

（50）

（51）

（52）

（53）

（54）

（55）

（56）

（57）

（58）

（59）

（60）

（61）

（62）

（63）

（64）

（65）

（66）

（67）

（68）

（69）

（70）

（71）

（72）

（73）

（74）

（75）

（76）

（77）

（78）

（79）

（80）

（81）

（82）

（83）

（84）

（85）

（86）

（87）

（88）

（89）

（90）

（91）

（92）

（93）

（94）

（95）

（96）

（97）

（98）

（99）

（100）

（101）

（102）

（103）

（104）

（105）

（106）

（107）

（108）

（109）

（110）

（111）

（112）

（113）

（114）

（115）

（116）

（117）

（118）

（119）

（120）

（121）

（122）

（123）

（124）

（125）

（126）

（127）

（128）

（129）

（130）

（131）

（132）

（133）

（134）

（135）

（136）

（137）

（138）

（139）

（140）

（141）

（142）

（143）

（144）

（145）

（146）

（147）

（148）

（149）

（150）

（151）

（152）

（153）

（154）

（155）

（156）

（157）

（158）

（159）

（160）

（161）

（162）

（163）

（164）

（165）

（166）

（167）

（168）

（169）

（170）

（171）

（172）

（173）

（174）

（175）

（176）

（177）

（178）

（179）

（180）

（181）

（182）

（183）

（184）

（185）

（186）

（187）

（188）

（189）

(第三種郵便物認可)

# 小名浜と諏訪神社

いわき地方史研究会会員 小野 一雄

③

氏の人々によつて早選再建築。あんな状態ではねない、といふが練られたのは言つてもよい。しかし明治期から大正に次いで昭和へとかかる社会的経済的情勢は、地方の神社の再建を容易なものとはしなかつた。

現生の社殿は空地となって、手前に神殿のものが(現在のものではない)、ボンと存在した空虚な状態が十一年余ちついたのである。

社殿の再建に至るまでの経過の一部が、大正十四年度小名浜町議会本町事務報告には、

敬神信仰の念(たか)ムル

八民淳淳ノ基礎ナルツテ屢々

(しばしば)之レガ雪等ノ努メル

處アリシガ歎クノ結果に着キ、村

社殿再建費用の「一助」とする

と報じられている。

三万五千円余りという工費は、当

時的小名浜町歳入予算が七、

四月二十八日代表賀宣上京。

取引先をそれぞれ分担して訪問、

小名浜の鎮守諏訪神社の再建費募

集の趣旨を述べ、協力を求めた。

そこであつた。

何とかしあげば、いつでも

なく、東京市内の間屋の主人の住

居を通り、近寄れておびえた子供

が、昔の場所にまみれてもみ合つ

て、地域の人々の心に、大きくな

り込んでいた、鎮守の存在は、

今どの様な位置にあるのか。ま

たの御興が、自動車で住民の前

を通り、いく現況からは、も

はや、昔の場所にまみれてもみ合つ

て、工費一五五円で製作された。

苦勞の成績のあらわれは、五月、

諏訪神社(橋本)、鈴木駒次郎(橋本)

の為め上京の際は、多大の御配慮

を賜り難有存候。

御陰を以て工事を進行致し、今秋

橋本)三代義蔵(古義)の名が刻

はなかろうか。

まっている。

かつては小名浜の歩みと共に、

石碑

札甲上候 敬具  
昭和五年五月五日  
小名浜鱈魚組合

組長小野徳藏(以下幹部の吉野)

の結果が、諏訪神社に今なお建つ

東京市築地魚市場魚問屋寄付芳

たようである。

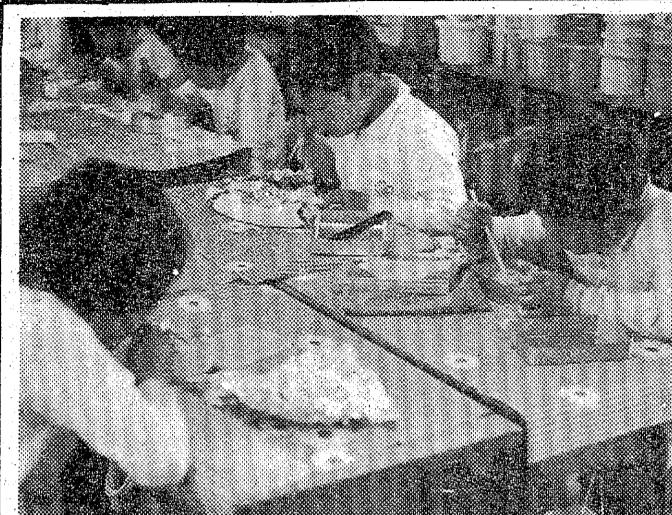
た。

東京市築地魚市場魚問屋寄付芳

た。







平一小

給付日

に弁当をほおばる児童

II

いわき市職労が実施した二十一日

の二時間ストの影響で、三和を除く平南部の五学校給食センター

がマヒ、同市内の小・中学校を含む

で七十一校(うち分校五校)の

学校給食が初めてストップした。

從来伊教委はストでもパンや

牛乳などの業者から直接運べるもの

で実施していたが、同日のほか一

十一・二十二の両日も時限ストが

行われたので、栄養面も考慮して

三

日間を弁当を手配した。現在学校

校合わせて百十五校(うち分校九

校)のうち学校給食センター

で調理するセンター方式が八十三

校(うち分校六校)となっている。

ストに参加したのは三和同セン

ターケ除く、五センター百四十二

人。影響を受ける各小・中学校で

は事前に学校長名で各家庭に連絡

したため、各校とも児童・生徒の

育になつていて、など種々難多か

が、お経営業者に駆けつけ好きなも

のを物語る母子など、あわただ

しい風景も見られた。

